

第8回 書評コンテスト

2023年9月1日（金）より応募開始

-課題図書を読んで「書評」を書こう-

※課題図書は裏面をご覧ください

- ▶対象：学部学生
- ▶形式：Word形式 A4 1行40字 1ページ36行（明朝推奨）
本文 2,000～2,400字
※本文以外（タイトル等）は文字数に含めない。
- ▶応募方法：E-Mailに添付し図書館へ送信 lib@cuc.ac.jp
- ▶締切：2023年 **10月27日（金）必着！**

◎図書館Webサイトに「応募要項」「文書テンプレート（ダウンロード可）」を掲載しています。

※書評には必ずオリジナルのタイトルを入れてください。

※他人の書評の丸写しや、一部の書き換えで自作としたことが判明した場合は、選考の対象外となります。

※応募作品の使用権は千葉商科大学附属図書館に帰属します。

※作品の応募は、一人一編までとします。

最優秀賞	副賞	30,000円	1名
優秀賞	副賞	20,000円	1名
奨励賞	副賞	10,000円	若干名

※受賞者以外のみなさんへ参加賞を贈呈します。



図書館Webサイト

課題図書

課題図書は図書館で展示しています

タイトル	著者名	出版年
マスメディアとは何か 「影響力」の正体 (中公新書)	稲増一憲著	2022
「居場所がない」人たち 超ソロ社会における幸福のコミュニティ論 (小学館新書)	荒川和久著	2023
ファーストペンギン シングルマザーと漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡 (講談社)	坪内知佳著	2022
草の根のファシズム 日本民衆の戦争体験 (岩波現代文庫)	吉見義明著	2022
少女たちの戦争 (中央公論新社)	中央公論新社編	2021
学問のすゝめ (岩波文庫／講談社学術文庫)	福沢諭吉著	-



書評とは？

- ▶ 書評 (book review) とは、まだ読んでいない人に「その本の価値」を紹介する文章。「その本の価値」とは「読むことで〈世界の見え方〉がどう変わるか」ということ。
- ▶ 読書感想文と似ているが、感想文は「自分」の思ったことが中心、書評は「その本」が主役、という違いがある。
- ▶ 自分の感想を超えて、その本の「核心」をつかみだすのが書評。書評では、「ここが核心だ」と思うところを、読んでいない人に分かるように説明する。
- ▶ 自分が読んだ時の感想は、出発点としてはとても重要。書評の中に書かれていてもいい。しかし、感想で終わってしまうと書評とは呼べない。

ポイント！

「〇〇な人にはぜひ本書を読んで欲しい」といったオススメは、「核心」を伝えるのに必要でないなら意味はない。文章力も重要。応募する前に、誤字脱字はもちろん、分かりにくいところがないか、きちんと確認しよう。



《お問い合わせ》

千葉商科大学附属図書館 lib@cuc.ac.jp / TEL : 047-373-9798